令和５年度事業計画

Ⅰ　事業方針

人生 100 年時代を迎えた現在、シニア世代の生き方や価値観は多様化しており、急激な超高齢社会の進行、人口減少化の中で、地域社会では高齢者自らが地域の一員としての役割を担い、共に活動することが期待されるなど、高齢者を取り巻く環境や社会的ニーズが設立当時と大きく変わってきています。

センターでは、シニア世代が培ってきた知識や経験を活かし、地域社会の一員としてシニアが更に活躍できる社会の実現を目指し、「意識づくり」「人づくり」「仲間づくり・健康づくり」「コーディネートの仕組みづくり」の４つの柱に沿って、全ての高齢者が活躍できる場づくりを積極的に進めています。

令和５年度においては、「誰もがその人らしく生き抜く長寿社会の実現」に向け、県の施策と連携しシニア世代の社会参加を促進してまいります。

□　「人生 100 年時代」を見据えた県民の意識づくりを進めます

情報誌、ホームページを活用した情報発信、県民参加のタウンミーティングの開催等により、シニア世代が社会参加活動を行うことができる社会づくりを推進し、県民の意識づくりを進めます。

□　高齢者の活動の場づくりを促進する仕組みを構築し、「居場所と出番がある長寿社会」の実現を目指します

シニア活動推進コーディネーターを引き続き全支部に配置することにより、関係機関との連携・協働を仕掛ける体制を強化し、全ての高齢者に「居場所」と「出番」がある長寿社会づくりを進めます。

□　高齢者の社会参加意欲の醸成と社会参加活動への支援を行います

シニア大学の「一般コース」は、卒業後の活動の場ともなる賛助会との連携等を推進し、地域社会の一員として活躍する人材を養成します。「専門コース」においては、オンラインも活用し様々な地域課題に向き合い解決するスキルを持ったプロデューサー的な人材を養成します。

□　高齢者の仲間づくり及び健康で活躍できる社会づくりを進めます

信州ねんりんピックの開催をはじめとし、県民参加の場を提供することにより、高齢者の生きがいや仲間づくり、健康で活躍できる社会づくりを推進します。

□　賛助会員の活動支援と加入促進を進めます

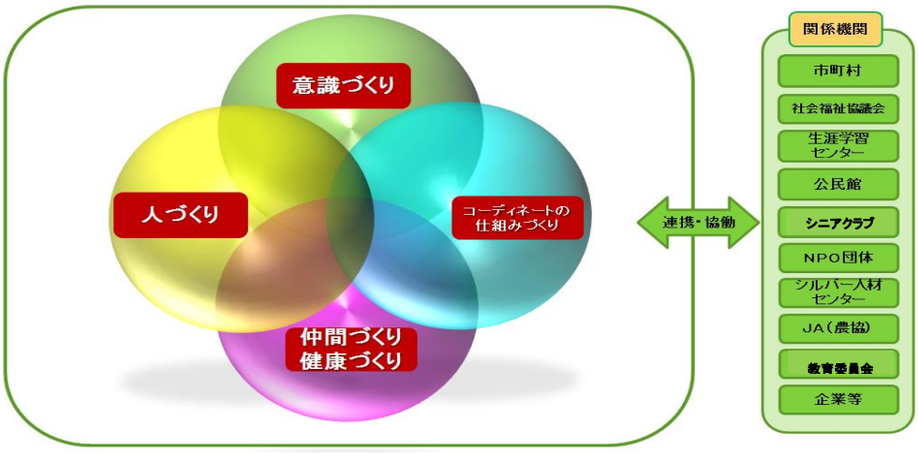
「賛助会員グループ活動活性化検討会」の検討結果、提案を踏まえ、魅力ある賛助会や賛助会員グループとなるための支援をしていきます。

□　財団運営の健全化に努めます

既存事業の点検・見直しを図るとともに、関係団体等との連携を推進し、財団運営の健全化に努めます。

Ⅱ　事業体系

（公）：公益目的事業
（共）：共益事業



誰もがその人らしく生き抜く長寿社会の実現

意識づくり

○情報提供事業
- （公）情報誌発行事業
- （公）広報事業

○啓発普及事業
- （共）広報啓発事業
- （共）ホームページ運営事業
- （共）表彰事業

○活動推進事業
- （公）センター支部活動事業
- （公）高齢者地域活動会議運営事業

人づくり

○人材育成事業
- （公）長野県シニア大学運営事業

仲間づくり・健康づくり

○推進事業
- （公）信州ねんりんピック開催事業
- （公）全国健康福祉祭選手派遣事業

○活動推進事業
- （共）賛助会員募集事業
- （共）地区賛助会運営費交付事業
- （共）地区賛助会連絡協議会運営事業
- （共）賛助会員グループ活動支援事業
- （共）賛助会員グループ立上げ給付金事業

コーディネートの仕組みづくり

○活動推進事業
- （公）高齢者社会参加促進事業

Ⅲ　実施事業

1　意識づくり

(1) 情報提供事業

① 情報誌発行事業（予算額　３，６９０千円）

情報誌「信州りらく」は、人生100年時代に向けた意識啓発に重点を置き、地域で積極的な社会活動を行っている人物、グループの紹介等を情報発信し、生きがい・健康づくりや社会参加に対する意識の高揚を図ります。

また、「情報誌企画・編集委員会」での検討を踏まえ、情報誌の内容充実に努めます。

- 発行回数　年３回（７月、11月、３月）
- 発行部数　4,500部
- 配布先　　市町村、図書館、公民館、公的病院、賛助会員 等

②広報事業（予算額　２２０千円）

ホームページによる情報発信やセンターパンフレット、人生二毛作実践事例集の配布等により、社会参加活動に係る情報発信に努めます。

(2) 啓発普及事業

① 広報啓発事業（予算額　１０千円）

賛助会員加入案内パンフレットを活用し、県民やシニア大学生、イベント参加者等への働きかけにより活動の魅力を伝え、賛助会員の加入促進を図ります。

また、マスコミ等への情報提供及びメールマガジン・公式LINEによる情報発信に努めます。

② ホームページ運営事業（予算額　４０千円）

ホームページにおいて、センターの事業実施状況や募集案内、支部・地区賛助会の活動状況等をタイムリーに掲載し、「人生100年時代」におけるシニアの活躍の推進に有効な取組等を発信し、センター事業の周知や意識啓発を図ります。

③ 表彰事業（予算額　２０千円）

賛助会員として、社会参加活動の推進等に功績のあった個人及び団体並びにセン

ターの運営等に貢献した個人及び団体に対し、表彰状又は感謝状を贈呈し、センターが推進する生きがいと健康づくり活動、社会参加活動等を推進します。

(3) 活動推進事業

① センター支部活動事業（予算額　１，３００千円）

明るく豊かな長寿社会づくりを推進することを目的として、センター支部の自主的な活動を促進します。

ア 一般事業

管内の高齢者を対象に生きがい･健康づくりや社会参加につながる事業を実施します。

- １支部当たり５万円以内

イ 信州ねんりんピック文化・芸術交流大会参加促進事業

「人生 100 年時代」におけるシニアの活躍の推進のために、信州ねんりんピック文化・芸術交流大会への参加を促進します。

- 全支部合計で３０万円以内

ウ　シニア活躍推進事業

市町村、社会福祉協議会等関係団体との連携・協働により、シニアの社会参加に対する意識の向上を図るために、県民参加のタウンミーティングを開催します。

- １支部当たり５万円以内

② 高齢者地域活動会議運営事業（予算額　２００千円）

センター支部が、市町村、市町村社会福祉協議会、ハローワーク、シルバー人材センター等の関係機関が参画する「ネットワーク会議（高齢者地域活動会議)」を開催し、連携、協働により高齢者の生きがい・健康づくりと社会参加を増進し、地域社会の維持、活性化に寄与するための枠組みづくりを行います。

２　人づくり

人材育成事業

長野県シニア大学運営事業（予算額　４４，７１９千円）

(1)一般コース

＜生きがいづくり・仲間づくり・社会参加のきっかけづくりを目指します＞

各学部カリキュラムの充実、効果的なＰＲや賛助会との連携等を推進し、シニア

世代の多様な生き方、価値観、地域性を大切にしながら、自ら地域の課題に気づき、学習を通して社会参加活動のきっかけをつかみ、卒業後、地域社会の一員としての自覚をもって地域と関わる人材を育成します。

- 定員　　各学年 920 人
  ただし、令和５年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に必要な対策を踏まえて実施可能な会場定員を募集定員とします。
  〔募集定員　各学年 635 人〕
- 学習期間及び時間数　２年間　年 60 時間（4 時間×15 日）
- 授業料　　１人年額 12,000 円
- 入学資格　　概ね 50 歳以上の県内在住者

(2)専門コース（地域プロデュース専門コース）

＜地域課題を的確に捉え、それを解決する専門的なスキルを持ったリーダーや、プロデューサー的な人材の養成を目指します＞

様々な地域課題に向き合って解決する“発想する力、連携・協働する力、合意形成力、コーディネート力”などのスキルを持ったプロデューサー的な人材を養成します。講座では、新型コロナウイルスの感染レベルが上がった際はオンラインによる授業を取り入れます。修了生はセンターの「シニア地域プロデューサー」として登録し、高齢者の社会参加活動を推進します。

- 定員　　30 人（長野学部に設置）
- 学習コース
  ・ライフデザイン(充実した人生設計等により創造的な生き方を目指す)
  ・コミュニティデザイン(住民が主体的に活動する地域の形成を目指す)
  ・ビジネスデザイン(地域課題解決のために社会的起業を目指す)
- 学習期間及び時間数 1 年間　年約 35 時間
- 授業料　　１人年間　26,000 円
- 入学資格　　概ね 50 歳以上の県内在住者

(3) シニア大学運営委員会

シニア大学各学部のカリキュラムの企画・編成やコースの運営等について助言・提言を行います。

(4) 社会活動推進員研修

シニア大学の企画運営や地区賛助会への助言・指導等を担う社会活動推進員の資質向上のため「本部研修」を実施します。

(5) 学校案内の作成

シニア大学の目的や趣旨、学習内容等を広くＰＲするため学校案内を作成、配布します。

3　仲間づくり・健康づくり

(1) 推進事業

① 信州ねんりんピック開催事業（予算額　５,０９６千円）

長寿社会に対する理解を深め、高齢者の生きがい・健康づくりや社会参加を推進する契機とするため、高齢者を中心とする多くの県民が参加する文化・芸術・スポーツの祭典を開催します。

ア 文化・芸術交流大会

(ｱ) 文化プログラム

- 開催期日　2023年９月９日（土）
- 会　　場　上田市丸子文化会館セレスホール

(ｲ) シニア作品展

- 開催期日　2023年９月８日（金）～10日(日)
- 会　　場　上田市丸子文化会館セレスホール
- 内　　容　日本画、洋画、彫刻、手工芸、書、写真の作品展示

(ｳ) 囲碁・将棋大会

- 開催期日　2023年９月９日（土）
- 会　　場　上田市丸子文化会館セレスホール

イ スポーツ交流大会

- 開催期日　2023年10月７日（土）ダンススポーツ等８種目
  2023年10月21日（土）ソフトテニス、テニス
- 会　　場　佐久市内運動施設
  小諸市内運動施設
- 内　　容　ダンススポーツ、グラウンド・ゴルフ等 10種目

② 全国健康福祉祭選手派遣事業（予算額　５，１８１千円）

高齢者の生きがいと健康づくりを目指す、第３５回全国健康福祉祭「ねんりんピック愛顔（えがお）のえひめ 2023」へ選手を派遣します。

- 開催期日　　2023 年 10 月 28 日（土）～10 月 31 日（火）
- 開催場所　　愛媛県
- 選手団派遣予定種目数・人員　　20 種目・約 140 人

(2) 活動推進事業

① 賛助会員募集・活動推進事業（予算額　　６３１千円）

賛助会員の加入促進のため引き続き入会金を免除する等、賛助会員の増加に向けた取組を進めます。

ア　会員の加入促進

- 地区賛助会等と連携し、シニア大生への勧誘を更に進めるとともに、企業訪問による法人会員勧誘等、会員の加入促進に向けた取り組みを強化します。
- 会員特典（情報誌配布、割引協力店での割引サービス、グループ活動経費の助成や立上げ資金の給付等）をＰＲします。

イ 割引協力店の充実

賛助会員が特典として利用できる、割引協力店の充実・拡大を図ります。

② 地区賛助会運営費交付事業（予算額　１，２２０千円）

地区賛助会の活動運営を行うために必要な経費を交付し、自主的な活動を推進します。

③ 地区賛助会連絡協議会運営事業（予算額　８９千円）

賛助会員代表（20 人）と支部事務局長（10 人）により構成される連絡協議会で社会参加活動の推進策等について協議・意見交換を行うとともに、地区賛助会活動の連絡調整を図ります。

④ 賛助会員グループ活動支援事業（予算額　１，３８０千円）

賛助会員グループの活動を積極的に推進するため、活動経費の一部をグループに助成します。

- 助成額

賛助会員１人当たり 1,000 円（１会員１グループに限る）
（社会貢献活動を年間５回以上行うグループはＡ会員１人当たり 300 円を加算する。）

⑤ 賛助会員グループ立上げ給付金事業（予算額　１００千円）

グループ長の協力を得て、賛助会員グループの年会費の一括納入を進めることにより、賛助会員が新規のグループを設立する際に給付金を給付し、高齢者の自主的な社会参加活動を推進します。

- 助成額　　１グループにつき１万円

４　コーディネートの仕組みづくり

高齢者社会参加促進事業（予算額　４４,１８５千円）

高齢者の社会参加のニーズと地域社会のニーズに関する情報を一元的に提供する「シニア活動推進コーディネーター」を設置し、市町村、市町村社会福祉協議会、シルバー人材センター等の関係機関と連携体制（プラットホーム）を構築し、情報共有を図ることを通じて、高齢者の地域社会のニーズのマッチングを行い、高齢者の多様な社会参加を支援します。

- 配置数　11 名　（本部１名、支部 10 名（各支部１名））

５　財団運営

理事会、評議員会、地区賛助会連絡協議会等の、財団運営に必要な会議を開催するとともに、既存事業の点検・見直し、関係団体等との連携により、適正な財団運営を行います。

- 理事会　　５月、　３月
- 評議員会　　６月、　３月
- 地区賛助会連絡協議会　　年２回
- 支部事務局次長等会議　　年２回